



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月30日

上場会社名 大正製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4581 URL <http://www.taisho-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 明
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 坪井 正樹 (TEL) 03-3985-2020
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	227,939	3.5	36,468	18.4	43,816	15.5	27,839	27.4
25年3月期第3四半期	220,269	4.3	30,795	△11.9	37,928	△7.7	21,848	4.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 42,404百万円 (58.4%) 25年3月期第3四半期 26,777百万円 (44.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第3四半期	343	32	343	23
25年3月期第3四半期	270	20	270	17

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
26年3月期第3四半期	716,605		609,690		83.4	
25年3月期	676,388		578,158		83.6	

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 597,683百万円 25年3月期 565,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
25年3月期	-	-	60	00	-	-	60	00	120 00
26年3月期	-	-	50	00	-	-			
26年3月期(予想)							60	00	110 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	294,500	3.3	38,000	7.5	46,500	5.3	30,000	14.0	369	96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	90,139,653株	25年3月期	90,139,653株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	9,061,319株	25年3月期	9,044,606株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	81,089,772株	25年3月期3Q	80,860,937株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

セルフメディケーション事業の中心分野であるOTC医薬品市場は、解熱鎮痛剤など一部のカテゴリーが堅調に推移しましたが、主力カテゴリーのドリンク剤、総合感冒薬、胃腸薬などが通期で前年を下回り、全体的には低調に推移しました。

医薬事業につきましても、新薬の創出が困難になりつつあるなかで、承認審査の厳格化や医療費適正化諸施策が浸透しつつあり、厳しい事業環境が続いております。

こうした事業環境の中で、当社グループのセルフメディケーション事業部門では、情報提供や店頭販促などを強化するとともに、生活習慣病のような成長領域に積極的に取り組んでおります。また、新事業・新カテゴリーに対しても挑戦を行いながら、国内OTC医薬品市場の活性化に努めております。海外市場におきましては、アジアを中心にドリンク剤事業とOTC医薬品事業を積極的に展開しております。

医薬事業部門でも、情報提供活動を中心とする営業力の強化を図るとともに、自社オリジナル開発物質の継続的な創出と開発のスピードアップに努めております。

このような事業活動により、当第3四半期連結累計期間のグループ全体売上高は、2,279億3千9百万円余（前年同四半期比+76億6千9百万円余、3.5%増—以下括弧内文言「前年同四半期比」省略）となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりであります。

セルフメディケーション事業	1,400億円（+70億円	5.3%増）
内訳		
国内	1,190億円（+6億円	0.5%増）
海外	192 〃（+66 〃	52.9%増）
その他	18 〃（△2 〃	9.6%減）
医薬事業	880億円（+7億円	0.8%増）
内訳		
医療用医薬品	861億円（+49億円	6.0%増）
中間製品等	17 〃（△42 〃	70.6%減）
工業所有権等使用料収益	2 〃（△0 〃	5.8%減）

両事業部門主要製品の売り上げ状況は次のとおりであります。

<セルフメディケーション事業>

当第3四半期連結累計期間売上高は、1,400億円（+70億円、5.3%増）となりました。

ドリンク剤の「リポビタミンシリーズ」は、平成25年4月に発売したノンカフェイン・低カロリーの「リポビタミンフィール」が寄与したものの、主力の「リポビタミンD」が前年を下回り（2.5%減）、シリーズ全体では542億円（0.2%減）となりました。

風邪薬「パブロンシリーズ」は、主力の総合感冒薬や鼻炎治療剤がともに前年比マイナスとなり、シリーズ全体では189億円（1.2%減）となりました。

発毛剤「リアップシリーズ」は、主力の「リアップX5」が前年比プラスとなり、シリーズ全体で110億円（1.5%増）となりました。

その他のブランドでは、解熱鎮痛薬「ナロンシリーズ」は32億円（1.3%増）、ミニドリンク剤の「ゼナシリーズ」は25億円（2.3%増）、「ヴィックスシリーズ」は26億円（3.3%増）と前年を上回りましたが、特定保健用食品等の「リビタシリーズ」は33億円（8.4%減）、「胃腸薬シリーズ」は33億円（1.9%減）、便秘薬「コーラックシリーズ」は27億円（4.2%減）と前年を下回りました。

一方、現在注力中の海外O T C医薬品事業では、大正オソサパ製薬O T C医薬品事業及び平成24年7月に買収したCICSA社等4社の寄与に加え、一昨年末から続く円安基調の影響もあり、118億円（78.1%増）となりました。

<医薬事業>

当第3四半期連結累計期間売上高は、880億円（+7億円、0.8%増）となりました。

増収となりましたのは、β-ラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系抗菌薬「ゾシン」200億円（20.8%増）、骨粗鬆症治療剤「エディロール」101億円（64.4%増）、キノロン系抗菌薬「ジェニナック」53億円（11.3%増）でした。一方、マクロライド系抗菌薬「クラリス」は126億円（9.5%減）、末梢循環改善薬「パルクス」は63億円（6.6%減）、ニューキノロン系抗菌薬「オゼックス」は56億円（16.0%減）と前年比マイナスとなりました。

中間製品等の売上高は、一部製品の供給契約満了により、17億円（70.6%減）と前年比で大きくマイナスとなりました。

利益面につきましては、売上高の増加及び売上原価率の改善により売上総利益が前年比4.5%増加し、営業利益は364億6千8百万円余（18.4%増）、経常利益は438億1千6百万円余（15.5%増）、四半期純利益は278億3千9百万円余（27.4%増※）となりました。

（※）前期は投資有価証券評価損22億円を計上

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ402億円増加し、7,166億円となりました。主な増加要因は受取手形及び売掛金の増加148億円、有価証券の増加47億円、投資有価証券の増加118億円です。

負債は、前連結会計年度末に比べ87億円増加し、1,069億円となりました。主な増加要因は支払手形及び買掛金の増加23億円、未払法人税等の増加41億円、繰延税金負債の増加39億円であり、主な減少要因は賞与引当金の減少29億円です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ315億円増加し、6,097億円となりました。主な増加要因は四半期純利益278億円、その他有価証券評価差額金の増加95億円であり、主な減少要因は配当金の支払による剰余金の減少89億円です。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年10月31日公表時から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	117,303	124,764
受取手形及び売掛金	83,739	98,572
有価証券	14,426	19,151
商品及び製品	15,686	16,950
仕掛品	1,914	1,170
原材料及び貯蔵品	8,231	8,084
繰延税金資産	6,522	6,197
その他	7,064	4,853
貸倒引当金	△561	△515
流動資産合計	254,326	279,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	48,738	51,130
機械装置及び運搬具（純額）	6,899	9,998
土地	37,773	37,787
建設仮勘定	3,661	332
その他（純額）	3,843	3,698
有形固定資産合計	100,916	102,946
無形固定資産		
のれん	21,746	22,574
販売権	8,198	7,273
商標権	11,831	11,616
ソフトウェア	2,168	1,850
その他	433	589
無形固定資産合計	44,377	43,904
投資その他の資産		
投資有価証券	208,006	219,759
関係会社株式	49,576	51,575
関係会社出資金	1,174	1,174
長期前払費用	930	896
繰延税金資産	7,267	5,977
その他	9,934	11,284
貸倒引当金	△121	△142
投資その他の資産合計	276,766	290,525
固定資産合計	422,061	437,375
資産合計	676,388	716,605

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,352	30,657
未払金	12,534	14,008
未払法人税等	3,709	7,846
未払費用	8,895	9,980
返品調整引当金	528	657
賞与引当金	4,662	1,749
その他	4,151	2,465
流動負債合計	62,834	67,363
固定負債		
退職給付引当金	18,212	18,199
役員退職慰労引当金	1,667	1,632
繰延税金負債	10,903	14,837
その他	4,610	4,881
固定負債合計	35,394	39,550
負債合計	98,229	106,914
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	15,270	15,269
利益剰余金	567,809	586,722
自己株式	△57,396	△57,519
株主資本合計	555,683	574,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,044	25,571
為替換算調整勘定	△6,013	△2,360
その他の包括利益累計額合計	10,030	23,210
新株予約権	91	180
少数株主持分	12,352	11,826
純資産合計	578,158	609,690
負債純資産合計	676,388	716,605

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	220,269	227,939
売上原価	83,354	84,864
売上総利益	136,915	143,074
返品調整引当金戻入額	460	517
返品調整引当金繰入額	557	645
差引売上総利益	136,818	142,946
販売費及び一般管理費	106,022	106,478
営業利益	30,795	36,468
営業外収益		
受取利息	4,003	3,942
受取配当金	1,073	1,149
持分法による投資利益	1,448	1,758
その他	737	600
営業外収益合計	7,261	7,450
営業外費用		
支払利息	15	2
支払手数料	84	77
その他	29	22
営業外費用合計	129	102
経常利益	37,928	43,816
特別利益		
固定資産売却益	364	49
投資有価証券売却益	—	56
特別利益合計	364	106
特別損失		
固定資産処分損	153	32
投資有価証券評価損	2,199	—
特別退職金	66	—
特別損失合計	2,419	32
税金等調整前四半期純利益	35,872	43,890
法人税等	12,953	14,679
少数株主損益調整前四半期純利益	22,919	29,211
少数株主利益	1,070	1,371
四半期純利益	21,848	27,839

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	22,919	29,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,289	9,119
為替換算調整勘定	561	3,664
持分法適用会社に対する持分相当額	6	408
その他の包括利益合計	3,857	13,192
四半期包括利益	26,777	42,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,698	41,019
少数株主に係る四半期包括利益	1,078	1,384

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディ ケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	132,961	87,308	220,269	—	220,269
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	132,961	87,308	220,269	—	220,269
セグメント利益(注2)	28,795	2,898	31,694	△898	30,795

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに所属しない当社(純粹持株会社)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディ ケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	139,963	87,976	227,939	—	227,939
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	139,963	87,976	227,939	—	227,939
セグメント利益(注2)	30,864	6,473	37,338	△870	36,468

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに所属しない当社(純粹持株会社)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。